

▶ トンボ(トリムマーク) は必ず「フィルタ」で作成してください

IllustratorからPDF保存する場合には、必ず「フィルタ」→「クリエイト」→「トリムマーク」でトンボを作成してください。「オブジェクト」→「トンボ」→「作成」では裁ち落とし分までPDFが作成されないなどの問題が起こる場合があります。

▶ アートボードについて

アートボードのサイズはトンボが入るサイズを指定してください。また、アートボードの中にトンボが入るように設定してください。アートボードのなかにトンボが入っていないと、PDF形式で保存した際にアートボードのサイズで切られてしまいます。詳しくは各バージョンのPDF作成方法の最初のページ『アートボードサイズ変更について』を参考にしてください。

▶ フォントについて

フォントが全てアウトライン化もしくはフォントが埋め込みされていないPDFファイルは受付いたしませんので、必ずフォントをアウトライン化するか、埋め込んだ状態でご入稿をお願いします。

Illustrator8.0ではフォントは埋め込めませんので、すべてのフォントをアウトライン化してください。

▶ 画像について

[1] 配置されているリンク画像は全て埋め込みにします。

「リンクパレット」→「画像を埋め込み」を選択して埋め込んで下さい。

※リンクパレットのマークが  このようになっているかを確認して下さい。

[2] Illustrator8.0においてはPDF保存しようとする時「このファイルは、EPS解析で解析できません」と表示され、PDFができない場合があります。その場合は、リンク画像のPhotoshop「EPSオプション」の「エンコーディング」→「バイナリ」にしてからリンク画像の名前を変更せず保存し、再度埋め込んで下さい。

[3] リンク画像のPhotoshop「EPSオプション」で「ハーフトーンスクリーン情報」「トランスファ関数」「ポストスクリプトカラー管理」にチェックが入っているファイルに関しては、ハーフトーンスクリーン情報によって線数の異常やトランスファ関数による画像の変化・ポストスクリプトカラー管理によるカラー変更が行なわれる場合があります。

弊社では修正はできませんので、PDFに変換する際に必ず事前にご確認下さい。